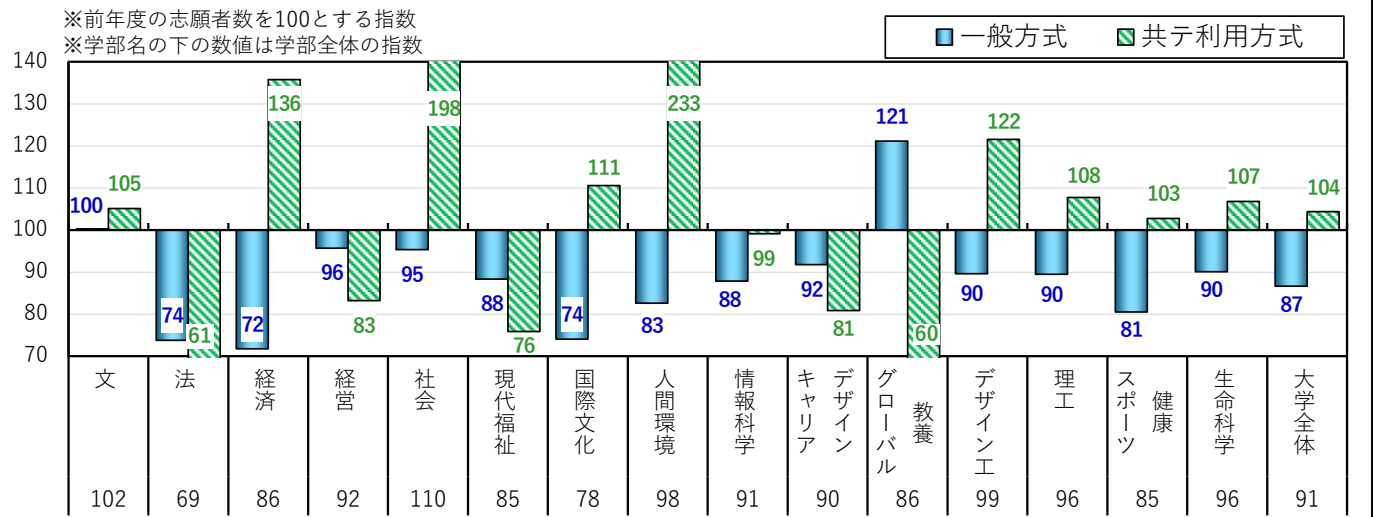


法政大：大学全体で減少し、志願者数は 10 万人を下回る 一般：-10,575 人 共テ：+1,283 人



**主な入試変更点** 選抜方法：経営<英語外部試験利用>新規実施…募集人員：(経営)8人、(経営戦略)5人、(市場経営)5人  
利用方法：出願要件  
スポーツ健康<共テ・C方式>新規実施…募集人員：5人、国+歴公+数2+理・理基2+外

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、9,292人(91)の減少で、志願者数は99,051人で10万人を下回った。前年度は共通テスト平均点大幅ダウンによる不安から、国公立大志願者が私立大併願校を増やす動きの中で狙われたことで大幅増加。今年度はこの反動と共通テスト平均点アップで私立大併願校数が減少したことが要因。方式別では、一般方式は10,575人(87)の減少、共通テスト利用方式は1,283人(104)のやや増加。一般方式の<英語外部試験利用>(97)はやや減少だが、新規実施の経営を除くと(74)の大幅減少。学部別では、15学部中増加は社会(110)の増加と文(102)の微増のみ。残り13学部は減少。特に、法(69)、国際文化(78)、現代福祉(85)、スポーツ健康(85)は大幅減少。

**<一般方式>**

- 文(100)**は、前年度並。学科別では、(英文)(137)は大幅増加、(地理)(110)は増加。一方で、(史)(87)、(心理)(87)はいずれも減少、(哲)(94)、(日本文)(94)はいずれもやや減少。
- 法(74)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、3学科とも大幅減少で、(法律)(72)、国際政治(76)はいずれも2年連続増加の反動で大幅減少。方式別でも、3方式とも大幅減少。
- 経済(72)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、3学科とも大幅減少で、(現代ビジネス)(51)はほぼ半減、(国際経済)(68)、(経済)(79)はいずれも大幅減少。
- 経営(96)**は、やや減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、(経営)(111)は増加。一方で、(経営戦略)(76)は大幅減少、(市場経営)(88)は減少。方式別では、新規導入の<英語外部試験利用>を除いた、既存の2方式でも<T日程>(79)は大幅減少、<A方式>(86)は減少。
- 社会(95)**は、やや減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、(社会)(116)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(メディア社会)(68)は大幅減少、(社会政策)(93)はやや減少で2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。
- 現代福祉(88)**は、減少で2年連続減少。学科別では、(臨床心理)(76)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(福祉コミュニティ)(99)は微減。
- 国際文化(74)**は、系統への低い人気に加えて前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、3方式とも減少で、<英語外部試験利用>(68)、<A方式>(69)はいずれも大幅減少、<T日程>(93)はやや減少。
- 人間環境(83)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、3方式とも減少で、<英語外部試験利用>(64)、<T日程>(81)はいずれも大幅減少、<A方式>(90)は減少。
- 情報科学(88)**は、2年連続増加の反動で減少。学科別では、2学科とも減少で、(コンピュータ科学)(82)は3年連続増加の反動で大幅減少、(デジタルメディア)(95)はやや減少。
- キャリアデザイン(92)**は、2年連続減少。方式別では、<T日程>(100)は前年度並だが、<英語外部試験利用>(75)は大幅減少、<A方式>(93)はやや減少。
- グローバル教養(121)**は、4年連続減少の反動で大幅増加。募集人員が7%減少により、志願倍率は23.0倍→8.2倍→10.8倍と10倍台に戻った。方式別では、2方式とも増加で、<A方式>(125)は大幅増加、<英語外部試験利用>(113)は増加。
- デザイン工(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、3学科とも減少で、(都市環境デザイン工)(82)は大幅減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続、(建築)(92)は減少、(システムデザイン)(94)はやや減少。
- 理工(90)**は、減少。学科・専攻別では、5学科・専攻中4学科・専攻が減少。特に、(創生科学)(77)、(機械工/機械工学)(80)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、(応用情報工)(101)は前年度のやや増加に引き続き、唯一の微増。
- スポーツ健康(81)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 生命科学(90)**は、前年度大幅増加の反動で減少。学科別では、3学科がいずれも減少で、特に(環境応用化)(83)は大幅減少、(応用植物科学)(87)は減少。

## &lt;共通テスト利用方式&gt;

- 文(105)**は、やや増加で4年ぶりに増加。学科別では、6学科中5学科が増加。特に、(英文)(123)、(史)(117)は大幅増加。一方で、(哲)(81)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(61)**は、前年度激増の反動で大幅減少。学科別では、3学科とも大幅減少で、(政治)(29)は志願者数1,000人減少の激減。
- 経済(136)**は、大幅増加で2年連続増加。学科別では、(国際経済)(286)は前年度大幅減少の反動で2.8倍以上の激増で、2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。(経済)(170)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(現代ビジネス)(28)は前年度4.7倍以上の激増の反動から激減で、2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。
- 経営(83)**は、大幅減少で、2019年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。学科別では、(経営)(187)は大幅増加。一方で、(経営戦略)(23)は前年度5.6倍以上の激増の反動で激減、(市場経営)(60)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 社会(198)**は、2年連続大幅減少の反動で激増。学科別では、3学科とも大幅増加で、(社会政策)(403)は2年連続大幅減少の反動で4倍以上の激増。(メディア社会)(140)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(社会)(138)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- 現代福祉(76)**は、大幅減少で3年ぶりに減少。学科別では、2学科とも大幅減少で、(福祉コミュニティ)(74)は大幅減少で3年ぶりに減少、(臨床心理)(78)は大幅減少。
- 人間環境(233)**は、3年連続大幅減少の反動で2.3倍以上の激増。志願者数は3年ぶりに1,000人を上回った。
- キャリアデザイン(81)**は、2年連続大幅減少。
- グローバル教養(60)**は、前年度激増の反動で大幅減少。
- 理工(108)**は、2年連続増加。学科・専修別では、6学科・専攻中4学科・専攻が増加で、(経営システム工)(134)は3年連続大幅減少の反動で大幅増加、(電気電子工)(125)は2年連続減少の反動で大幅増加、(応用情報工)(122)は3年連続減少の反動で大幅増加、(機械工/機械工学)(106)はやや増加で2年連続増加。一方で、(創生科学)(66)は前年度激増の反動で大幅減少。
- スポーツ健康(103)**は、やや増加で2年連続増加。
- 生命科学(107)**は、やや増加で2年連続増加。学科別では、(応用植物科学)(159)は大幅増加で2年連続増加、(生命機能)(120)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(環境応用化)(72)は前年度激増の反動で大幅減少。